

話題提供者プロフィール:

1955 年、横浜市生まれ。京都大学大学院文学研究科単位取得退学。京都大学東南アジア研究センター助手、大阪外国語大学専任講師、大阪大学教養部助教授、同文学部助教授などをへて 2001 年から現職。専門は中近世ベトナム史を中心とする東南アジア史、海域アジア史、東南アジア地域研究など。著作に『新詳世界史 B』『最新世界史図説タペストリー』(いずれも共著、帝国書院)、『世界史リブレット 12 歴史世界としての東南アジア』(山川出版社、1996 年)、『岩波講座東南アジア史 2 東南アジア古代国家の成立と展開』(共著、2001 年)、『岩波講座東南アジア史別巻 東南アジア史研究案内』(共編著、2003 年)、『海域アジア史研究入門』(共編著、岩波書店、2008 年刊行予定)などの教科書・入門書や、『ベトナムの事典』(共編著、同朋舎、1999 年)、『新版東南アジアを知る事典』(平凡社、2008 年刊行予定)などの事典類がある。現在「海域アジア史研究会」(<http://homepage2.nifty.com/PHASU/mah-mirror/index.html> 1993 年創立)代表、「大阪大学歴史教育研究会」(<http://www.geocities.jp/rekikyo/> 2005 年創立)代表、タンロン皇城遺跡保存のための日越合同専門家委員会委員などをつとめる。